

学校名	大桑中学校		
ホームページURL	生徒数 54 名		
(1) テーマ 「自分の生き方を考えよう」 テーマの分類() 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 3年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい ・将来の自分の生き方を考える上で必要な情報を集める。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 木曾郡内の高等学校の教育について 専門学校および郡外の高等学校について 1・2年次に調べた職業調べのまとめと資格・試験をとって就く仕事について 社会の問題について 以上4つの分野に分かれて、学年進路コーナー・図書館・インターネット・関係機関への問い合わせなどで調査し、分野ごと中間発表をしてまとめた。また、総合発表会で各代表者が全校の前で自分たちの課題を発表した。 時数(24)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・学年4名の職員が、1分野ずつ担当し、指導・助言にあたった。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) 移行期でもあり、時間数が限られているので、総合発表会までの前半に集中して学習した。 週1時間～2時間をめどに学習した。 高校の体験入学と時期的に重なり、調べたことが実際の高校へ行って確認できた。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) 調査方法の工夫がなされていたか。 自らの意欲をもって、課題が追究されていたか。 調査したことのまとめや発表の仕方はよかったか。 以上を発表会の中で友達や先生から指摘してもらって評価とした。			
(8) 成果と課題 課題発表の方法のマニュアルを作って指導すると発表の仕方がもっと分かったのではないか。 インターネットの利用はしやすかった。しかし、高校の情報は、案内やパンフレットと同じであることが多く役に立たないものが多かった。また、社会問題を調べた生徒はリアルな情報があり、情報量も多いことに気づいた。 情報収集の方法が身に着けられた。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題(-ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境 -エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題